

議会だより 123 号の訂正とお詫び

11月1日発行の議会だよりの記事の一部に誤りがありましたのでお詫びします。次のとおり訂正します。以後確認を徹底しこのようなことないように注意いたします。

発行責任者 議長 丸山豊・議会だより編集委員会
TEL. 0265-72-2104 FAX. 0265-73-9799

3 ページ上段の表を全部差し替え

(平成29年第3回臨時会の記事でした。正しくは次のとおりです。)

第3回臨時会(8月8日)内容は以下のとおりです。

議案件名	内容	賛成	反対	議決結果
損害賠償の額を定めることについて	交通事故による損害賠償	9	0	可決

4 ページの記事を全部差し替え

(数字、内容の文章記述誤り)

主な誤りの箇所

場所	誤	正
1 段目、3 行目	上限は 35.0%だが、	将来負担比率は 350%以上になると財政健全化計画の策定などをしなければならないが、
2 段目、8 行目から	物件費のうち賃金は 89%	賃金総額のうち子育て関係で 89%
2 段目、11 行目から	途中で 75 歳以上が無料	《平成 30 年度からの事業》
2 段目、21 行目から	コンビニ交付が増え一日平均 77.2 人。	住民票などのコンビニ交付が増えた。《77.2 人はこども館内放課後児童クラブの利用人数》
4 段目、8 行目から	イベントの際、時間外手当とする。その他は代休だが消化されていない。	イベントの際、代休とするが、消化されていない。
5 段目、1 行目から	不納欠損しない方針だ。	不納欠損はできる限りしない方針だ。

(差し替え後の記事)

決算特別委員会報告【平成29年度決算】(抜粋)

◆一般会計

問 電気料を減らす施策は。

答 新電力へ切り替えて、年間400万円程節約できる見込み。

問 税の徴収率について。

答 管内では最下位。現年分滞納を増やさないとを基本に整理している。預金、給与差し押さえも実施しているが、県平均よりも上であるも管内では低いほう。

問 将来負担率がマイナスから17.6%になった。

答 保育園・小学校の大型建設事業が続き、起債借入れを行ったため。これからエアコン、ICTといった学校関係事業が続くため、当分このくらいの値となる。事業実施に当たっては、交付税措置がある起債を利用するなど、有利な制度を見逃さないようにしたい。

◆介護保険事業特別会計

問 介護認定者中、要支援1、2が減っている。

答 予防事業の効果があつたと考えている。

◆国民健康保険事業特別会計

問 医療費のうち精神疾患は統合失調症が上位だがこころの病は増加傾向か。

答 なかなか完治しないため増加している。

問 加入者が減った。

答 制度改正により社会保険へ加入したため減となった。

問 保険給付費が下がった。

答 被保険者数の減少と人工透析患者の一部が後期高齢者医療に移行したため。

◆後期高齢者医療特別会計

問 保険料は年金から天引きでは。

答 90%は天引き（特別徴収）だが、そうでない人（普通徴収）もいる。

◆水道事業会計

問 全国的には人口減だが、水道施設の維持は。

答 全国的には統合も検討。上伊那では連携できる事業の検討を始めた。

問 石綿管（古い水道管）の区間は残っているか。

答 今はない。すべて入れ替え済み。

◆下水道事業会計

問 太陽光発電は。

答 天候に左右されるため、1年経過したところで集計し報告したい。

審査の結果

6会計すべて「認定すべきもの」との結論となった。

12ページの教育関係者懇談会の記事を全部差し替え

（数字、内容の文章記述誤り）

主な誤りの箇所

場所	誤	正
1段目、7行目から	遊具を見直して	遊具の使い方を見直して
2段目、6行目から	信大の学校林を利用できることになった	信大農場南の私有地を学校林として借りている
3段目、14行目から	6年の算数が24%平均より低い	《全国学力調査結果の発表はなく、数字を示すことが誤り》

（差し替え後の記事）

8月9日（木） 教育長、教育委員、各校校長教頭、学校教育専門員、教育委員会事務局と議員の計22名が出席して学校の様子などについて懇談した。

◆各校の様子

◇南箕輪小学校

学校教育目標「考えよう」「仲良くなろう」「きたえよう」に基き、学びの充実や係り活動等役割を得て子どもが輝く姿が学校生活の中で見られている。具体的な取り組みとして、「安心・安全な学校づくり」に向けて、各マニュアルの見直しを進めている。また、「学年集会、学級会」で高学年の子どもたちが、自主的に言葉遣いの問題に取り組む姿が観られている。

◇南部小学校

校舎増築事業が始まったが、伐採される栃の木を何らかの形で残したい。「きらきらとみんながみんな かがやく学校」を大切にしている。取り組みとしては、信大農学部との交流の深まりや、学校南側にある学校林でよく遊ぶ姿がある。森の学習と関連しながら、「みどりの少年団」でも活躍している。

学校には「仲間宣言」があり、学級・仲間・地域づくりにつながっている。

◇南箕輪中学校

3M「学び合い」「磨き合い」「認め合い」を大事にしている。「学び合い」では、先生たちの相互授業参観。「認め合い」では、担任が生徒一人ひとりと懇談。「磨き合い」では、部活動の活躍など具体的な動きを通して結果につなげている。

◆懇談で出された話題（抜粋）

信州型コミュニティースクールは、南部小学校、中学校では実践中で、南箕輪小学校は動き始めたところ。南箕輪小学校では登下校時の子どもたちの見守りに力を入れたい。組織づくりよりも自主的なボランティアの輪を広げたい。今後も学習活動等に地域の皆さんの支援をいただきたい。

小学校の英語・外国語活動への取り組みは、2020年度新学習指導要領完全実施を待たずに、前倒しで実施している。

全国学力状況調査の結果を受け、「家庭学習の手引き」の活用を図りたい。子どもたちの家庭学習の時間が少ない。また、小学校6年対象の放課後学習の取り組みが今後行われる。中学校放課後学習には先輩の高校生・信大生が講師陣に加わっている。いずれの場面でも、子どもたちを認める・ほめることがとても大事。

子どもたちの様子は、学校・放課後児童クラブで落ち着きが見られ、じっくり学習に取り組む姿が見られる。

◆懇談を終わって

学校と教育委員会の関わりが近いので、学校の相談にもすぐに応じてもらえることがありがたいとの発言があり、互いに良い関係が築けていることを感じた。